

報道関係者各位

代表企業 三井不動産株式会社
鹿島建設株式会社・京浜急行電鉄株式会社
第一生命保険株式会社・株式会社竹中工務店
株式会社ディー・エヌ・エー
東急株式会社・星野リゾート

JR「関内」駅前 大規模ミクストユース型プロジェクト 「BASEGATE 横浜関内」2026 年 3 月 19 日グランドオープン 入居テナント55 店舗の詳細と小割飲食ゾーンの名称を発表

本リリースのポイント

- ・ JR「関内」駅前における大規模ミクストユース型プロジェクト「BASEGATE(ベースゲート)横浜関内」のグランドオープンが 2026 年 3 月 19 日に決定
- ・ 商業エリアには、新業態 2 店舗を含む全 55 店舗がオープン。また、34 店舗からなる国内最大級の小割飲食ゾーンの名称を「スタジアム横バル街」に決定
- ・ 関内最高層のオフィスにビジネスと学びの拠点となるシェアオフィス & コワーキングスペース「co-ba kannai / yokohama(仮称)」を開設
- ・ ホテル「OM07 横浜(おも) by 星野リゾート」の予約開始日が2025年10月22日に決定

三井不動産株式会社(以下「三井不動産」)を代表企業とする、鹿島建設株式会社、京浜急行電鉄株式会社、第一生命保険株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社ディー・エヌ・エー(以下「DeNA」)、東急株式会社、星野リゾートの 8 社は、JR 関内駅前に「横浜市旧市庁舎街区活用事業」として建設中の「BASEGATE 横浜関内(以下「当街区」)」のグランドオープンを 2026 年 3 月 19 日(木)に決定いたしました。



街区全体完成予想パース(昼)

また、本日公式サイト(<https://basegate-yokohama-kannai.com/>)を開設いたしました。当街区は、オフィスや新産業創造拠点、飲食店を中心とした商業エリア、旧横浜市庁舎行政棟を保存・活用したホテルなどからなる、大規模ミクストユース型プロジェクトです。商業エリアには、日本最大級の常設型ライブビューイングアリーナ、遊びとテクノロジーを融合させたエデュテインメント施設も入居します。

■国内最大級の小割飲食ゾーン「スタジアム横バル街」が誕生

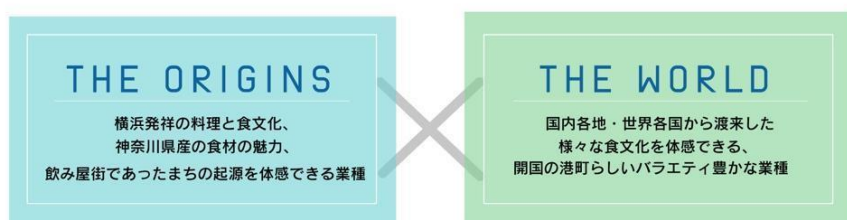
当街区の商業エリアには飲食店を中心に 55 店舗がオープンします。うち、34 店舗からなる国内最大級の小割飲食ゾーンの名称を「スタジアム横バル街」に決定いたしました。

スタジアム横バル街

ロゴ(商標登録出願手続き中)

「スタジアムサイドテラス」と「ザ レガシー」の 2 棟にまたがる 34 店舗の小型店舗で構成された「スタジアム横バル街」では、横浜ならではの魅力が詰まった国内外のバラエティ豊かな料理が味わえます。路面店が立ち並ぶようにデザインされた空間で、出会いと会話、ハシゴ使いなど、路地に並ぶ店々のようなライブ感を楽しめる飲食ゾーンです。

●スタジアム横バル街 業種構成



- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| ・ ラーメン | ・ 鍋・豚肉料理 | ・ ベトナム料理 |
| ・ 居酒屋 | ・ 割烹バル | ・ イタリアン酒場 |
| ・ クラフトビール / 肉料理 | ・ 点心酒場 | ・ たこ焼き居酒屋 |
| ・ 魚串 / 居酒屋 | ・ 肉居酒屋 | ・ 韓国屋台料理 |
| ・ 町中華 | ・ ビストロ / かき氷 | ・ メキシカンバー |
| ・ 天ぷらバル | ・ イタリアン | ・ 九州居酒屋 |
| ・ あじフライ / 日本酒バル | ・ 中華 | ・ 沖縄料理 |
| ・ 焼鳥 / 鳥料理 | ・ ワインバー | ・ イタリアンバル |
| ・ クラフトビール・生ハム | ・ プラントベース料理 | ・ タイ料理 |
| ・ 鉄板焼き | ・ ピッツァ | ・ フレンチカフェ |
| ・ 寿司・海鮮和食 | ・ インド料理 | |



「スタジアム横バル街」イメージ

※出店テナント決定前の参考デザインのため、実際とは異なります。

<スタジアム横バル街ならではのポイント>

(1) 人との出会いや会話、賑わいが生まれる店づくり

全店がコの字または L 字型のカウンター席を備え、隣り合わせたお客様同士や店員とのコミュニケーションが生まれる空間デザインになっています。また、店前の屋外テラス席や、通路に面して置かれた客席など、賑わいが店の外にも広がるつくりになっています。

(2) 様々な利用シーンに応え、ハシゴしたくなる店舗構成

多彩な業種が集うことで、夜にハシゴするだけでなく、ランチや昼飲み、0 次会や 2 軒目使いまで多様な用途・シーンで利用でき、1 人でも友人とでも楽しめる飲食ゾーンとなっています。

(3) 全店が一体となった企画・運営

全店が参加するイベントを実施するなど、集合体ならではの魅力を生む運営を行います。全店で 1 つの店という意識を持った店舗同士の連帯感が、ここで飲食する楽しさと居心地の良さを生み出します。

■BASEGATE 横浜関内にて、注目の新業態店舗の出店が決定

商業エリアには、「スタジアム横バル街」に加えて、今回が初出店となる注目の新業態 2 店舗が出店いたします。

<有隣堂>



1909 年に横浜・関内(伊勢佐木町)で創業した書店「有隣堂」が手がける、新たな文化発信拠点。

本との出会いに加えて、ラウンジのように過ごせるコワーキングスペース、日常を彩るマルシェ、アートと触れ合えるショップ併設の小さなギャラリー、洋食が楽しめるダイニングなど多彩な展開を通じて、「表現と発信の場」を創造していきます。

<THE TRATTORIA SALVATORE & CAFÉ>

The TRATTORIA SALVATORE CAFE



グランシェフ サルヴァトーレ・クオモが監修する「THE TRATTORIA SALVATORE & CAFE」は、本格イタリアンをよりカジュアルに楽しめるオールデイダイニングです。アンティパストやピッツァ、パスタなどの伝統料理を、ポップでモダンな感覚でアレンジ。ワインとのペアリングが楽しめるおつまみから、しっかり満足できるメインディッシュまで、幅広いシーンに応じた多彩なメニューをご用意しています。

モーニングからディナー、カフェタイムまで、気軽に立ち寄れる空間で、魅力的な本格イタリアンをお楽しみください

その他、商業店舗の入居テナント一覧は【別紙1】をご参照ください。

■横浜関内エリア最大級の環境配慮型オフィスに、ビジネスと学びの拠点が誕生

「タワー」12 階～33 階のオフィスエリアには、多様な業種のテナントが入居を予定しており、地域のビジネス拠点としての役割を担います。オフィスエリアへの玄関口であるスカイロビー(11 階)には、ラウンジ、カフェ、コンビニ、シェアオフィスなどを整備し、多様な人が集い、自由なコミュニケーションや発想を生む、快適で創造的な空間を実現します。

<co-ba kannai/yokohama(仮称)>

co-ba

11 階には、イノベーションの芽を育むシェアオフィス&コワーキングスペース「co-ba kannai/yokohama」(仮称)が開設予定です。会員向けワークスペースに加え、オフィステナントも利用可能な会議室や、オフィステナントと co-ba 会員が交流できるコミュニケーションスペース、自社製品等を紹介できるショーケースなどを設置予定です。運営は、豊富な施設運営実績を持つ Ba&Co Inc が担当。“WORK OUT PARK!”をコンセプトに仕事への意欲や集中力を高める空間を設計し、オフィスワーカーに加えスタートアップやクリエイターが集い、自由な発想が生まれる環境づくりを支援します。多様な入居者ニーズに応えることで、ビル全体の価値向上に寄与し、横浜関内エリアの人とアイデアが交差する場所を作り出します。



<CARAVAN COFFEE>

横浜スタジアムや港町の大パノラマが広がるラウンジには、1928 年横浜馬車道創業の老舗コーヒーブランド「キャラバンコーヒー」のカフェがオープン予定です。テナントの皆様やご来訪者に、特別なひとときを提供します。



<学校法人関東学院>

横浜の地で 140 年以上にわたり教育活動を展開している学校法人関東学院がオフィステナントとして入居を予定しており、当街区における産官学連携を促進します。



関東学院

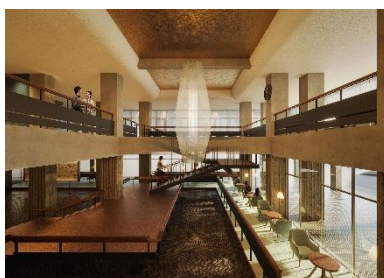
■ホテル「OM07 横浜(おも) by 星野リゾート」が「横浜市認定歴史的建造物」に認定、予約開始日が 2025 年 10 月 22 日に決定

「OM07 横浜 by 星野リゾート」は、村野藤吾設計のモダニズム建築「旧横浜市庁舎行政棟」を「レガシーホテル」として活用致します。今年 8 月 5 日に「旧横浜市庁舎行政棟」が、戦後の建造物として初めて「横浜市認定歴史的建造物」に認定されました。「長きにわたり地域のシンボルであった旧横浜市庁舎行政棟の保全と活用により、新旧が融合した新たな都市のランドマークが形成される」と評価を頂きました。

2026 年春の開業に向け今年 10 月 22 日より宿泊予約受付を開始します。同日に星野リゾートではプレス発表を実施し、販売客室・ホテル詳細について発表予定です。



「OM07 横浜 by 星野リゾート」
外観イメージ



元市民広間大階段を
復元的再製作したホテルロビー



客室イメージ

【参考資料】

■街の賑わいのショーケース、個性豊かな複数の広場が誕生

BASEGATE 横浜関内には「まちが見える、想いが交差する、賑わいの玄関口(ゲート)」をコンセプトに、JR 関内駅南口改札の目の前に位置する「セントラルプラザ」を始めとした、地域の皆様に親しんでいただける多彩な広場がオープンします。豊かなランドスケープとデジタルサイネージで、街の熱気が高まる瞬間には LIVE 感のあるワクワクを、日常は居心地の良いサードプレイスとして、新たな暮らしを彩ります。また、広場は貸し出しも行う予定で、様々なイベントにより、街の賑わいを創出する場を目指します。

■グリーンスローモビリティで関内周辺エリアをめぐるツアーの実証実験をスタート

開発コンソーシアムと株式会社日本旅行(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:吉田 圭吾、以下「日本旅行」と)の連携により、地域観光に親和性のあるグリーンスローモビリティ(※1)(愛称:関内キャタピ(仮称))で関内・みなとみらいエリアをめぐるツアーを催行いたします。有名な観光スポットから、ディープな横浜の一面が垣間見えるマニアックなお店まで、街の魅力を存分に味わっていただける魅力的なショートトリップツアーを展開します。

なお、2026 年春の開業に先駆けて、日本旅行で販売している「横浜関内観光 GSM(グリーンスローモビリティ)乗車券付きプラン」の運行を 2025 年 10 月中旬から期間限定で開始いたします。詳しくは日本旅行の専用ページをご確認ください。

URL:<https://www.nta.co.jp/akafu/east/campaign/gsm/>

(※1)グリーンスローモビリティとは、時速 20km 未満で走る電動自動車です。



■DeNA グループ直営のエンターテインメント施設について

<THE LIVE supported by 大和地所>

「THE LIVE supported by 大和地所」は、横浜 DeNA ベ이스ターズが企画運営する日本最大級の常設型ライブビューイングアリーナで 2026 年 3 月 19 日に開業を予定しております。施設の中心には幅約 18m、高さ約 8m の大型 LED ビジョンが設置され、野球を始めとした様々なスポーツの試合や音楽ライブ等のエンターテインメントコンテンツに熱狂しながら飲食を楽しめます。1 階には大型 LED ビジョンを取り囲むようにバラエティ豊かな飲食店が並び、2 階には横浜 DeNA ベ이스ターズをはじめとした横浜のプロスポーツチームのグッズを扱う「BAYSTORE Flagship YOKOHAMA」が、3 階にはテラス付きのレストランも出店予定です。



営業時間 : 11:00~23:00

公式 Web サイト:<https://the-live.com>

公式 SNS : X https://x.com/thelive_ydb

※「THE LIVE supported by 大和地所」については、本日 DeNA ベ이스ターズより発信のニュースリリースをご確認ください。

URL:<https://dena.com/jp/press/5296>

<ワンダリア横浜>

DeNA が企画運営する「ワンダリア横浜」は、驚きや不思議との出会いを臨場感のある映像とともにお届けする、エデュテインメントの考え方を取り入れた没入型体験施設です。2026 年春の開業を予定しております。来館者は緑ゆたかな森林や神秘的な深海などそれぞれ異なるテーマが設定されている 6 つのゾーンを巡り、日常では体験できないような生き物や自然との出会いを楽しむことができます。また、本施設専用の「ワンダリアアプリ」を使うことで、映像に登場する生き物の情報を入手できるほか、生き物を見つけることで達成できるミッションなどを通してゲーム感覚で施設内を探求することができます。



営業時間 : 月曜日から木曜日 10:00～19:00、金曜日・休日／大型連休等: 10:00～21:00

公式 Web サイト: <https://wonderia.jp>

公式 SNS : X https://x.com/Wonderia_info

Instagram https://www.instagram.com/wonderia_yokohama/

TikTok https://www.tiktok.com/@wonderia_yokohama

LINE <https://lin.ee/4hh77AK>

※「ワンダリア横浜」は 2024 年 11 月の情報発信において「Wonderia」と表記していましたが、読みやすさや所在地を明確にする観点から正式名称を「ワンダリア横浜」とします。

※「ワンダリア横浜」については、本日 DeNA より発信のニュースリリースをご確認ください。

URL: <https://dena.com/jp/press/5295>

■最先端のウェットラボや交流ラウンジ完備で、研究を社会へ還元するエコシステムな空間を可能に

「タワー6 階」には、一般社団法人 STELLAR SCIENCE FOUNDATION(ステラ・サイエンス・ファウンデーション)(所在地: 東京都中央区、代表理事: 武部貴則、以下「SSF」)と三井不動産が連携し、横浜市最大級の「新産業創造拠点」を開設します。



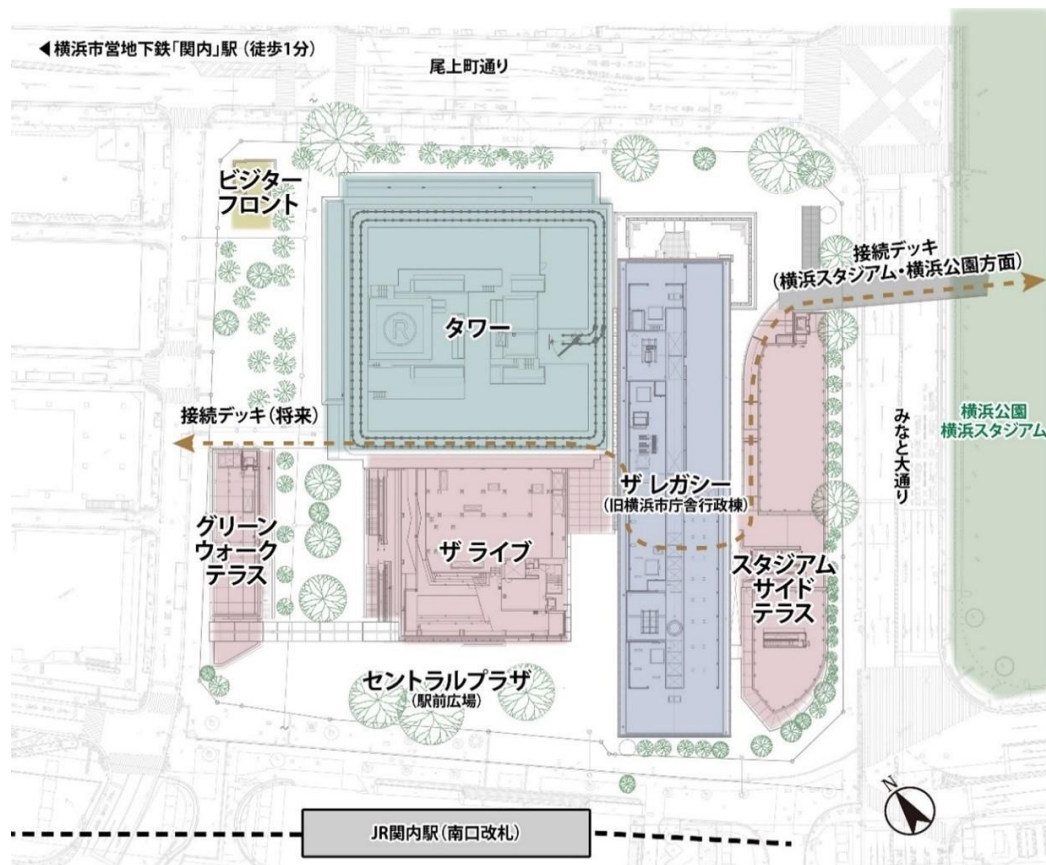
施設内には、横浜において初となる賃貸ラボ&オフィス「三井リンクラボ」として、最先端の賃貸ウェットラボ(※2)やオフィスの整備に加え、交流ラウンジやイベントスペースも完備。SSF、三井不動産、一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)(所在地: 東京都中央区、理事長: 岡野栄之)の 3 者が連携し、挑戦的な研究者を中心に、起業家や医療機関など多様な担い手が集い、研究成果を社会的価値へと昇華させる革新的な産業創出エコシステムの構築を推進します。本拠点が提供するの、「人と人とが交わり、創造性が引き出される空間」。分野を越えた交流から新たなアイデアが生まれ、研究とイノベーションが連鎖的に生まれる好循環を育んでいきます。

(※2)ウェットラボとは、創薬や再生医療等の研究者が液体や気体等を使って実験を行う場所のこと。

■事業概要

施設名称	BASEGATE横浜関内
開業日	2026年3月19日(木)
竣工日 (竣工式)	2025年12月26日(金)
所在地	神奈川県横浜市中区港町1丁目1番1ほか
アクセス	JR 根岸線「関内」駅徒歩 1 分、横浜市営地下鉄ブルーライン「関内」駅徒歩 1 分、 横浜高速鉄道みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩7分
敷地面積	約16,500㎡
延床面積	約128,500㎡
各棟主用途	タワー : オフィス・大学、新産業創造拠点、エデュテインメント施設、商業 ザ レガシー(旧横浜市庁舎行政棟) : ホテル、商業 ザ ライブ : ライブビューイング施設、商業 グリーンウォークテラス : 商業 スタジアムサイドテラス : 商業 ビジターフロント : 観光案内所
設計/施工 デザイン	設計/施工 : 鹿島建設株式会社 設計/施工 : 株式会社竹中工務店 ランドスケープデザイン : 株式会社ランドスケープ・プラス 商環境デザイン : Degins JP株式会社
HP	https://basegate-yokohama-kannai.com
SNS	Instagram: https://www.instagram.com/basegate_official

<街区配置図>



<位置図>



※本リリースに掲載されているパース等はイメージであり、今後の関係各所との協議・検討により変更となる可能性があります。